飛翔

第55号

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター 4階
TEL 099-257-7667　FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swc.jp　URL www.kagoshima-swc.jp

CONTENTS

・特集／養護老人ホーム　慈眼寺寿光園 …… 2
・平成30年度事業計画 …… 4
・平成29年度事業報告 …… 5
・ねっとわーく～施設の窓から～ …… 6
・平成30年度新規採用職員紹介 …… 10
・平成29年度決算報告 …… 14

特集

養護老人ホーム 慈眼寺寿光園

本年四月、一般型特定施設入居者生活介護事業所に転換しました。

慈眼寺寿光園においては、利用者に心身のきめ細かい病状観察や緊急の通院支援を必要とする中重度の要介護高齢者が年々増えつつある中、四～五年前から夜勤の専従要員をはじめ非常勤の介護人材の確保が年ごとに厳しさを増し、非常勤の欠員補充は基本的にできない状況となってきています。

こうしたことから、多くの利用者の安心・安全な生活を切れ目なく支えるため、本年四月に、従来の「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護」事業所から、常勤職員を手厚く配置することのできる一般型特定施設入居者生活介護事業所に転換しました。

転換に当たっては、園内に併設していた訪問介護ステーションとデイセンターを本年三月末限りで廃止した上で、一般型特定施設の配置基準に基づき、介護サービス利用者に対する看護職員及び介護職員の配置比が三対一以上となるように常勤職員の増員を行いました。

従来は、訪問介護ステーションにおけるパートのヘルパーの人材確保が困難であったことなどから、介護サービスの提供能力に限界があり、介護サービスの利用者を最大二十九人としていましたが、本年四月の定期人事異動等により、看護職員・介護職員の常勤換算人員が二十二人となりましたので、配置基準上、最大六十人の入所者に対し介護サービスを提供することが可能となりました。

さらに、身元引受人や頼りになる家族のいない入所者に対する必要な社会生活支援を適時・適切に行うため、生活相談員の体制を二人体制から三人体制に強化しました。

転換後の介護サービスの提供については、生活相談員、看護職員及び支援介護員の直接処遇職員が一体となって、利用者本人の意向を踏まえながら、自立支援・重度化防止の観点から、特定施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、入浴介助等の身体介護や生活援助、機能訓練（運動療法・学習療法）、福祉用具の提供等の介護サービスを必要なときに効果的に提供できるように努めています。

Q&A

Q1 介護認定を受けた入所者は何人ですか。

A 本年四月現在、五十二人であり、入所者（六十九人）の四人に三人が介護認定を受けており、要介護一・二が三十二人、要介護三以上が十二人となっています。

Q2 介護サービス利用料の自己負担は全員一割負担ですか。

A 養護老人ホームにおいては、利用者が介護サービスを利用しやすいように「介護サービス利用者負担加算」という措置市町村による助成措置の制度が設けられています。助成措置の支弁割合（補助率）は年金等の収入の水準に応じて設定されており、生活保護水準の収入であれば、自己負担額はありません。

また、一か月の自己負担額が一万五千円を超える金額となる方もおられますが、年収が国民年金のみで月の利用者負担の上限額が月一万五千円とされる利用者の場合には、自己負担額の支払後、超過額が払い戻される制度が設けられています。

介護サービス利用料の自己負担額や市町村の助成措置の申請手続等については、生活相談員に遠慮なく御相談ください。

機能訓練室の流れ

利用者様が日常生活を送る上で必要な生活機能の改善または維持のための訓練です。

14:00 健康チェック

バイタルチェックを行い、体調、体温、脈拍、血圧を記入して体温確認します。

14:20 準備運動

ラジオ体操などの準備運動を行います。

機能訓練開始

上肢交互運動器

無理のないように声かけしながら進めていきます。

ゆっくり足こぎ運動を行います。

休憩

平行棒につかまり背筋を伸ばします。

平行棒使用による立ち座り訓練

内転筋強化訓練

ゆっくり動作してもらい、筋力アップを図ります。

休憩

口腔体操

水分補給

お茶を飲んでほっとする時間です。

15:15 レクリエーション

塗り絵・学習療法・カラオケ・玉入れ・風船バレー・ミニボーリングなど

笑い・おしゃべりも大切な刺激です。

お疲れ様でした!!!

16:00 終了

利用するには、当園に入居されている要介護・要支援の認定を受けている方で特定施設の契約が必要です!!

まずはお気軽にご相談ください。

TEL 099-268-2514　メールアドレス jigenji@kagoshima-swc.jp

平成30年度　事　業　計　画

Ⅰ　基本方針

我が国の経済は、緩やかな景気回復基調が続いている。先行きについては雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されている。また、県内の景気についても観光関連の一部で改善し、生産活動、消費関連、雇用情勢が堅調に推移するなど、全体として持ち直している。

社会福祉を取り巻く環境については、平成28年の社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人はこれまで以上に公益性の高い法人運営が求められている一方で、介護・福祉分野における人材確保は引き続き困難な状況が続いている。

このような中、当事業団においては平成28年３月に策定した第二期経営計画の最終年度として多様な福祉ニーズ等に適切に対応するとともに、自律的かつ自主的な経営と鹿児島県社会福祉事業団基本理念（以下「事業団基本理念」という。）に基づく質の高いきめ細やかなサービスの提供や自立に向けた支援の充実を目指し、各般の事業実施の具体化と計画的な推進を図るとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、より水準の高い事業経営を推進する。

1　質の高い福祉サービスの提供

すべての職員が事業団基本理念に基づき同じ視点に立ち、利用者が自立した豊かな生活を送ることができるように専門的なサービスの提供を目指す。また、リスクマネジメント体制を確立し、安全・安心な施設運営に努めるとともに、自立支援計画の充実を図り、より一層のサービスの質の向上に努める。

2　地域福祉の推進

地域における公益的な取組を推進するため、既存の公益事業の充実を図るとともに、新たな取組について検討を行う。また、事業団の持つ専門性を活かし、国及び地方公共団体等からの業務受託や指定管理、新たな自主事業への取組を検討することにより地域福祉の推進を図る。

3　経営基盤の強化

経営指標を理解し、経営に関する意識を向上させ、経営基盤の強化を図る。また、安定した法人経営を行うために経営的視点を持てる職員を育成するとともに、コンプライアンス意識の高揚を図り、より社会的に信頼される社会福祉法人を目指す。

4　人材の育成

人材育成のための効果的な職員研修体系を整備し、さらなるサービスの質の向上を目指す。また、職員満足度調査を実施し、働きやすく、働きがいのある職場づくりに努めることにより、人材の確保に努める。

5　法人の一体的経営

事業団基本理念の理解と実践を全職員に浸透させ、施設経営を強固なものにするとともに、平成31年度からの非正規職員の無期労働契約への転換を控え、新たな雇用形態について検討する。

施設整備については、チャイルドクラブあおぞらの改築工事を開始するほか、仁風学園の全面改築については、今後鹿児島県家庭的養護推進計画の見直しが進められることから、その状況を踏まえながら適宜、検討を進める。

平成29年度　事　業　報　告

Ⅰ　基本方針

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、引き続き緩やかな回復が続くことが期待されている。また、社会福祉を取り巻く環境については、平成28年の社会福祉法改正に伴い、社会福祉法人はこれまで以上に公益性の高い法人運営が求められている一方で、雇用環境の改善に伴い、福祉・介護分野における人材確保は厳しい状況が続いている。

このような中、事業団においては第２期経営計画の２年目として、多種多様な福祉ニーズ等に適切に対応するとともに、改正社会福祉法への的確な対応を図りつつ、自律的かつ自主的な経営を目指し、各般の事業・実施の具体化と計画的な推進を図った。

また、各施設においては、鹿児島県社会福祉事業団基本理念（以下「事業団基本理念」という。）及び職員倫理綱領に基づき、利用者や地域等のニーズを的確にとらえ、質の高いきめ細やかなサービスの提供と自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、より高い水準の事業経営に努めた。

1　質の高い福祉サービスの提供

職員全員が事業団基本理念に沿って同じ視点に立ち、利用者が自立して豊かな生活を送ることができるよう、児童福祉や障害福祉、高齢者福祉などそれぞれの分野における専門的なサービス提供に努めた。また、母子生活支援施設が第三者評価を受審したほか、自立支援計画の充実を図るなど、より一層のサービス向上に努めた。

2　地域福祉の推進

社会福祉法人の使命である公益的な取組について、既存の事業を充実させるとともに、新たな取組について検討を行った。また、地域福祉の推進に貢献するべく事業団の専門性を生かせるような新規事業について検討を重ね、平成30年度よりリハステーションゆすにおいて生活訓練を、川内自興園において就労定着支援を新たに実施することとした。

3　経営基盤の強化

経営指標を理解し、目標値の達成への取組や月次実績の分析を行うため、月次報告に関する会議を実施するとともに、財務諸表の活用による経営状況の把握など、職員の経営に関する意識の向上を図った。

安定した法人経営に資するため、南部親子つどいの広場については平成30年度から５年間の指定管理者として指定を受けるとともに、慈眼寺寿光園については平成30年４月に「外部サービス利用型特定施設入居者生活介護」から「一般型特定施設入居者生活介護」へ転換することとした。

4　人材の育成

喫緊の課題である人材確保について、各学校や養成校を訪問して事業団のＰＲや採用試験の案内を行うとともに、就職ガイダンス等に参加し、積極的な広報活動を実施した。

人材の育成については、職員研修規程に基づき全体研修や階層別研修を実施するとともに、研修内容を通じて職員の帰属意識の向上を図った。

5　法人の一体的経営

事業団基本理念の理解と実践を全職員へ浸透させ、施設経営を強固なものにするとともに、改正労働契約法に基づく無期労働契約への転換を控え、新たな雇用形態について検討を行った。

施設整備については、チャイルドクラブあおぞらの全面改築について、基本構想に基づき実施設計を完了した。

6　理事会の開催状況

理事会を以下のとおり開催し、事業計画・事業報告、予算･計算関係書類及び財産目録、理事長･常務理事の選定、定款変更、諸規則等の改正、施設長等の任免、評議員会の招集及び目的である事項等、法人の業務に関する重要事項について審議を行った。

わっとわーく ～施設の窓から～

児童養護施設　仁風学園
寿康園との交流会

三月に、特別養護老人ホーム「寿康園」との交流会に参加しました。仁風学園の目と鼻の先にある寿康園は、毎年夏祭りの時にお邪魔しています。昨年より、子ども達にもっと地域交流の楽しさを知って欲しい、活躍の場を広げて欲しいという思いから、昨年は保育園、今年は寿康園との交流会が決まりました。

子ども達に告知をしたのは一カ月程前でした。告知後、すぐに「出し物は何しようか。」「衣装はどうしようか」と、話し合う姿が見られました。人前で出し物を披露する以上、手を抜くことは出来ません。子ども達は、ほぼ毎日、空いた時間で練習に励みました。

本番当日は、朝からうきうきワクワク、でも少し不安げな様子もちらほら見られました。発表は幼児、小学生男子、小学生女子の順番で行われました。幼児はドラえもんの歌である「夢を叶えてドラえもん」、小学生男子は二グループに分かれ、「妖怪ウォッチのダンス」と「バブリーダンス」、小学生女子は韓国のアイドルグループのダンスを二曲披露しました。途中、緊張と恥ずかしさから歌詞が出て来なかったり、踊りを忘れてしまったりする子もいましたが、それも愛嬌です。寿康園の利用者の方は、にこにこと笑顔で前に立つ子ども達を見て「かわいい」「上手ね」など、口々に話をされていました。

出し物を披露した後、寿康園の利用者と子ども達で話をする時間が設けられました。初めは「何を話していいのかわからない」と訴えて来る子どももいましたが、すぐに溶け込みました。改めて子どもの順応の速さに驚くことでした。

高齢者との交流会は今回初めてでしたが、異年齢の人が集まると双方に良い刺激になると感じました。今後も継続できるよう、地域交流に力を入れていきたいと思います。

児童指導員　冨永　野々花

児童養護施設　若葉学園
サーカスへ行こう

子ども達が何日も前から楽しみにしていたサーカスの観覧日の朝、幼児棟全体に元気な声が響き渡ります。

今回はサーカスで色々なエンターテイメントを見たり、実際に接したりする中で子どもの感性を豊かにすること、子どもと職員が一緒に外出することで温かい人間関係を築いていくことを目的に、二班に分かれてイオンモール鹿児島の特設会場まで足を運びました。

行きの車内では、サーカスを心待ちにした子ども達が「どんなことをするのかな。」「これから観るサーカスに胸を躍らせた様子で会話していました。サーカスの話題で持ちきりとなり、長い道のりもあっという間に感じていたようです。

楽しみにしていたサーカス観覧は、広い会場や見慣れない衣装を着たピエロ、動物のショー、様々なパフォーマンスを行うサーカス団員に目を輝かせながら楽しむ様子が見られました。少し照れながらもピエロに手を振る姿も可愛らしかったです。長時間に渡る観覧でしたが、楽しく見ることができました。

その後の昼食は皆でパスタを食べました。食事をしながら「サーカスすごかったね。」「また観たいね。」と嬉しそうな声が聞こえてきました。

帰りの車でぐっすりと眠っている子ども達の可愛い寝顔を見て、今後も多くのことを経験する機会を大切にし、たくさんの思い出を作っていきたいなと感じました。

児童指導員　郷原　望美

婦人保護施設
花の力

自然のもつ力は不思議で、はかり知れないものがあると思います。

当寮には、様々な問題を抱えた女

性の方々が入所しています。一日でも早く問題を解決し、自立することが目標なのですが、現実はなかなか厳しいものがあります。そのような中で、少しでも心が安らぎ自分らしさを取り戻し、将来に役立てればと教養講座を設けています。生け花や茶道、ヨガや健康教室、料理や栄養指導、メイクアップ、マナー、パーソナルカラー教室等があります。

先日生け花教室があり、全員が参加しました。利用者の方々の表情は真剣そのものです。カチンカチンと鋏の音。講師の先生は基本をしっかり押さえながら、個人に合わせ親切にご指導下さっていました。しばらくすると、一本ずつばらばらだった花がこんなにも花器の中で華やかに舞うものなのかと驚きました。「生け花ってもっと難しいものかと思っていた。」「花の高さは変えないといけないのだって。花を見ていると気持ちが落ち着くね。」「花はどれもきれいだね。」「私達にも生け花はできるものなのね。花を生けているときは全てを忘れていた。」「また生け花をやりたい。」等の言葉が聞かれ、利用者の方々からは好評でした。利

用者の方々からの言葉に涙が出るくらいうれしくて、花の力のすごさを感じることでした。生けられた花は施設の各所に飾られ、優しく微笑んでいます。

副寮長　平田　かよみ

保育所　同胞保育園
ママの笑顔が子どもに笑顔を

平成十七年十月より始まった本園の一時預かり事業が今年度も五月から始まりました。

私は、ある一組の親子に出会いました。その親子は本園の地域子育て支援センター「上町わくわくランド」を利用しており、子どもが一歳半の頃から一時保育を利用して下さっています。子どものイヤイヤ期をきっかけに始めた一時保育利用。ママが明るい笑顔で話してくれました。

「一時保育を利用して子どもがすごく成長しました。食事の時、スプーンを持つのも嫌がるほどでしたが、今では一人でスプーンを使ってご飯を食べられるようになりました。家で私が言っても聞いてくれないことも保育園で先生に言われたり、お友達の姿を見たりして刺激されるのか進んでやってくれます。お話や歌も大好きでよく聞かせてくれます。家に母と子二人きりでずっといて、それでいいのかなと不安もありました。実家も遠いため、一時保育が有り難く、待ち遠しいものになっています。先生と話をして、アドバイスを頂けるのも有り難いです。たくさんの子ども達との中から言葉を覚えたり遊びを通して、おもちゃの貸借を知ったりとびっくりするほどたくましくなりました。何よりも私自身がリフレッシュ出来る時間です。」と話されていました。

親と子二人きりの生活、行き詰ってしまったとき、そっと親に寄り添い親子が息抜きできたり、一緒に笑顔になれる場所として支援していきたいと思います。「おはようございます」の一言から明るい笑顔で様々な親子を迎えられるようにこれからもしていきたいと思います。

保育士　図師　麻衣

保育所　鹿児島みなみ保育園
リズムダンスって楽しいね

専門の講師を招いて毎月行われる「リズムダンス」。初回を五月に迎え、三歳児クラスの子ども達は保護者の方に買って貰った少し大きめの体操服に身を包み登園してきました。子ども達は、他のクラスの保育士達から「かっこいいね。」「よく似合っているよ。」と声をかけてもらい、照れたようにはにかみながらも、どこか誇らしげで嬉しそうでした。講師の先生が整列して待っている子ども達に「ぱんだ組さん！」と第一声。「は

い」返事も立ち姿も凛々しく、これから始まることにワクワクしていることが伝わってきました。

まず、ゆっくりと体の色々な部位を伸ばす、手と足でグー・チョキ・パーをしながらジャンプをするなどのストレッチ。先生と全く同じように、床や伸ばした足先にいとも簡単に指先や額がつき、できたということを子ども自身感じ取ったようでどの子どもからも自然と笑みがこぼれていました。そして講師の先生や保育士に向けて「先生ほら見て」「こうでしょう。できたよ。」と興奮気味に知らせてきました。できたという喜びの気持ちに「本当だね。すごいな。」など寄り添い、認めることで子ども達の自信がつきます。さらに先生の次の言動に注目し、意欲が高まってきた所でいよいよ曲に合わせてのダンスが始まります。初回ということもあってか、子ども達に馴染みのある「オモチャのチャチャチャ」や「むすんでひらいて」など、いつの間にか子ども達も歌を口ずさみながら、ジャンプをしたり、ステップを踏みながら手を叩いたりリズミカルに沢山の動きが入ったダンスを楽しみました。あっという間に終わりの時間。気づけば子ども達の立ち位置が開始時より講師の先生に近づいており、「まだやりたい。」との声があがるほど、この時間が子ども達にとって充実して楽しいものとなったことを物語っていました。

このリズムダンスを通して、子ども達は身体機能を高めると共に、音楽に合わせて友達と一緒に踊り表現する楽しさを味わいました。そして、私自身は活動の導入の仕方やメリハリのある動き、子ども達への声のかけ方など沢山の刺激を受けることができたと感じました。この日だけで終わらず、日々の保育でも活かしながら、もっとやってみたい、頑張りたい、できたという気持ちを育み、次回に繋げていきたいと思います。

保育士　高岡　優子

鹿児島市南部親子つどいの広場
パパ講座

鹿児島市南部親子つどいの広場では、日頃、仕事で忙しくなかなか子どもと接する時間がないお父さん達に、子どもと一緒に過ごしてもらおうとパパ講座を実施しています。

今回は、「パパと一緒に工作教室！」ということで、ペットボトルを使い、アンパンマンの車を作る講座を実施しました。三歳くらいまでの小さな子ども達の参加が多く、シールを貼ったりクレヨンで描いたりして、アンパンマンの顔を作ることができました。難しいタイヤの取り付けはお父さんが行いました。子ども達は、お父さんと一緒に工作をすることができ、とっても楽しそうでした。子ども達の笑顔、お父さんの笑顔、それを近くで見守るお母さんの笑顔もとても素敵でした。

パパ講座の後のアンケートでは、「子どもと楽しく作ることができました。」「普段、なかなか参加できないので、今回パパ講座に子どもと一緒に参加できてよかったです。」「子どもが楽しそうに工作していました。」等の感想があり、子どもとの時間を楽しめたことをとても嬉しく思いました。

今回は工作遊びでしたが、ふれあい遊びや親子エクササイズなどの体を使った遊び、０歳の子どもをお持ちのお父さんを対象にした離乳食クッキングやベビーマッサージなども実施する予定です。お父さんが自分の子どもと過ごす時間をもっと楽

しめるように、そして、子どもとお母さんが一緒に楽しく子育てができるように今後も支援していくことができたらと思います。

保育士　江﨑　恵理

障害者支援施設　ゆすの里
若葉の季節！さわやかに体を動かそう！

四月二十四日、今年度初めての「ミニレク大会」を開催しました。二十代から七十代の約六十名の利用者の方々が参加しました。ポケットボール、ターゲットボール、フロアカーリングの三種目を行い、合計点数を競い合いました。ミニレク大会は年六回開催し、大会毎に一位から五位までを表彰します。また六大会の合計点数が、最も高かった利用者をグランドチャンピオンとして表彰します。

競技中は、あちらこちらから笑い声や歓声、声援が聞こえ、普段とはまた違った活気に満ち溢れていました。このようなイベントを行うことで利用者の方々の様々な一面を知ることが出来ます。日々の訓練だけではそういった一面に気づく事が少なかったように思います。そのため、私達職員にとっても非常に貴重な機会となりました。

今後も利用者の方々に楽しんで頂ける、思い出に残るミニレク大会になるように創意工夫し、取り組んでいきたいと思います。

理学療法士兼支援員　宇都　国

障害者支援施設　川内自興園
永利地区ソフトボール大会

五月二十日、強い日差しが差し込む快晴の中、川内自興園グラウンドと永利小学校グラウンドにて、永利地区ソフトボール大会が行われました。永利地区の各チームと、川内自興園利用者・職員合同チームが熱い戦いを繰り広げました。利用者の方々からは昨年度ティーボール九州知的障害者親善球技大会優勝チームのレギュラーやソフトボール経験者、体力自慢の選抜メンバーと、元気自慢の職員で結成された自興園オールスターズとなりました。利用者の方々も応援に来て下さり、自興園チームがヒットを打つと大歓声が上がりました。時には、利用者の方が抜ければアウトになるような鋭い打球をキャッチし、アウトにしたり、地域の方々も捕球できない様な鋭いヒットを打ったりと大健闘でした。しかし、永利地区の皆さんも実力揃いの方ばかり。利用者・職員とも全力を尽くしました。残念ながら二敗という結果でしたが、全力で取り組んだため、皆さんとても満足げな表情でした。地域の方々からたくさんの声援もあり、笑顔が絶えない大会でした。ティーボールとは異なるルールや雰囲気の中、さらに暑い中での試合でしたが、利用者・職員ともに素晴らしい思い出になりました。

利用者の方々からも、「また頑張りたい。」、「次は一勝を目指す。」と言う声が聞かれ、次のソフトボール大会への目標も決まった様子でした。

地域の方々との交流もでき、とても充実した一日になりました。

支援員　髙田　拡維

平成30年度 新規採用職員紹介

❶氏名　❷勤務先・職名
❸特技・趣味　❹リフレッシュ法
❺自己アピール・抱負

❶ 中野　宏之
（なかの　ひろゆき）
❷ 仁風学園　児童指導員
❸ サッカー・クラシック音楽
❹ コーヒーを飲みながら一服し、ものおもいにふけること
❺ 職場の和を大切に、子どもと共に成長していきたいです。よろしくお願いします！

❶ 松元　久
（まつもと　ひさし）
❷ 慈眼寺寿光園　生活相談員
❸ プロ野球観戦
日本ハムファイターズについて語ること。
❹ 子どもと遊ぶ事　風呂に入れる事。
❺ 職場の雰囲気が明るく楽しくなるよう自らも笑顔を忘れずにコミュニケーションを深めていきたいです。宜しくお願い致します。

❶ 出水　美帆
（いずみ　みほ）
❷ 若葉学園　児童指導員
❸ 特技…打楽器
趣味…音楽を聴く事
❹ やっと車を手に入れたので、今は車を運転して遠くまで行く事が楽しいです。
❺ 初めての事ばかりで緊張の連続ですが、責任を持って頑張っていきたいです。

❶ 鶴田　健作
（つるだ　けんさく）
❷ 同胞保育園　保育士
❸ アクションショー、バスケットボール
❹ 体を動かすこと
❺ 日々多くのことを学び吸収して全力で仕事に励んでいきたいです。

❶ 荒井　真琴
（あらい　まこと）
❷ 同胞保育園　保育士
❸ 読書、旅行
❹ 旅行
❺ がむしゃらに頑張っています。

❶ 渡瀬　茄月
（わたせ　かつき）
❷ 鹿児島みなみ保育園　保育士
❸ 音楽鑑賞、読書
❹ カラオケ、猫を愛でる
❺ 日々子どもたちから元気をもらい、先輩方にご指導いただきながら、担任として頑張っています。先輩方から多くのことを学び、又、技を盗み、子どもの気持ちにより添える、そんな素敵な保育士になりたいです。

❶ 冨山　志穂
（とみやま　しほ）
❷ 同胞保育園　保育士
❸ ピアノ
❹ カラオケ・旅行
❺ 毎日を大切にして少しずつ成長出来るよう頑張ります。

❶ 東郷　圭子
（とうごう　けいこ）
❷ 川内自興園　支援員
❸ ドライブ・自然散策
❹ 寝ておいしいものを食べる
❺ 医療の世界から、新しい分野に挑戦したいと思い、入職しました。よろしくお願いします。

❶ 宇都　国
（うと　くに）
❷ ゆすの里　理学療法士兼支援員
❸ スポーツ観戦
❹ 子どもと遊ぶ
❺ 一日でも早く業務内容を把握し、利用者に満足度の高いリハビリテーションと支援を提供できるよう研鑽を積んでいきたいと思います。

❶ 木ノ下　佳奈
（きのした　かな）
❷ 事務局　主事
❸ ピアノを弾くこと、ドライブ
❹ カラオケ、人と関わること
❺ 一日でも早く仕事を覚え、何事にも積極的に取り組み、笑顔を忘れず一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

（平成 30 年度新任職員研修の様子）

シリーズ 女（ひと）

鹿児島みなみ保育園
主査保育士
中原　君子さん

今回は、鹿児島みなみ保育園の主査保育士、中原君子さんにお話を伺いました。

Q. 保育園で勤務をされて、どんな時にやりがいや楽しさを感じますか。

A. 日々の関わりの中で、元気いっぱいの子ども達と会話をしたり、笑顔を見ることができたりした時です。自分自身が行う保育の中で、子ども達が楽しんでくれている姿を見たり、子ども達から「笑わせてくれてありがとう。」という言葉が聞けたりするとやりがいを感じます。時には伝えたいことがなかなか伝わらないこともあります。それでも子ども達の笑顔を見ると、自分自身も笑顔になることができます。また子ども達の優しさに触れ、成長を近くで感じることができるところも魅力の一つですね。

Q. 疲れた時のリフレッシュ方法は何ですか。

A. 音楽を聴くことです。ゆったりとした音楽が好きですが、最近では自然の音が収録されているCD等を聴いて、ゆったりとした時間を過ごすことがリフレッシュ方法となっています。

また絵本が大好きで書店に行き、自分自身でお気に入りの絵本を見つけることが楽しみになっています。絵本を探す時も、保育園の子ども達の顔が頭に浮かび、いつの間にか子ども達のことを思いながら絵本を探している自分がいます。見つけた絵本を子ども達に読んであげて、子ども達の反応を見たり、感想を聞いたりすることが楽しみになっています。

Q. 後輩に伝えたいことがありますか。

A. 職場では、職員同士のコミュニケーションがとても大切になります。職員間のチームワークが仕事へのモチベーションにも関わってきます。チームワークや仲間意識を大切にしてほしいと思います。

また、子ども達には保育園で様々な経験を積んでほしいと思っています。そのために職員は何か一つだけでも、得意な保育技術を自分自身で見つけて欲しいと思います。それが子ども達の支援や育ちに反映され、子ども達の、「今日も、楽しかった。」等の思いや意欲に繋がっていってくれたらなと思います。

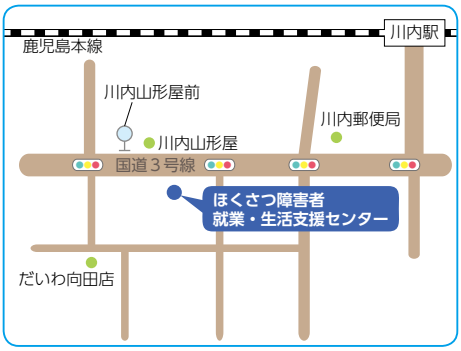
子ども達への想いがたくさん伝わってくるそんなインタビューでした。貴重なお話を聴かせて頂きました。ありがとうございました。

母子生活支援施設　平原　侑佳

アンテナショップあおぞら

ほくさつ障害者就業・生活支援センター内に、地域の障害者支援団体の方々の商品を取り扱う直売所を運営しています。川内自興園の花苗や野菜はもちろん、ゆすの里の陶芸品・小物類、川内なずな園さんのぽん菓子、川内福祉作業所さんの乾燥昆布、若あゆ作業所さんのカットわかめなど豊富に取り扱っています。第三金曜日には、「ど真ん中市」を開催し、川内自興園の花苗が通常60円のところを50円で販売しています。ぜひ、足をお運びください。

ご気軽にご連絡ください。
TEL：0996-29-5022　　住所：薩摩川内市西向田11番26号



苦情解決の対応状況

平成 29 年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は、事業団全体で 26 件でした。

施設種別	苦情件数	苦情申出人				苦情種別内訳						
		利用者	家族	代理人	その他	職員の接遇	サービスの質量	利用料	説明・情報提供	被害・損害	権利侵害	その他
児童養護施設	1		1			1						
養護老人ホーム	3	2	1				1		1			1
婦人保護施設	2		2			1	1					
保育所	5		5				3					2
地域子育て支援拠点事業	1		1									1
母子生活支援施設	1	1										1
障害者支援施設	12	7	4		1	3	4					5
障害福祉サービス事業	1	1					1					
合計	26	11	14		1	5	10		1			10

寄せられた苦情に対しましては、「相談苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。
今後も利用者・関係者の皆様からの声（相談・苦情）を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

役職名	氏　名	現　職　名　等
理事長	森　秀樹	
常務理事	生見　博志	（事務局長兼務）
理　事	内門　公孝	前　鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
〃	西井上　誠	鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
〃	斉野　繁	鹿児島県民生委員児童委員協議会 会長
〃	田中　正幸	鹿児島県共同募金会 常務理事兼事務局長
〃	徳永　千早	若葉学園長
監　事	野間　健三	元　県立牧ノ原学園長
〃	池田　利博	元　仁風学園長

役員任期：平成29年６月22日から平成31年度の定時評議員会の終結の時まで

評議員名簿

役員名	氏　名	現　職　名　等
評議員	諏訪　弘美	元　鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
〃	松田　典久	日本赤十字社鹿児島県支部 事務局長
〃	渡邉　正人	鹿児島県民生委員児童委員協議会 副会長
〃	坂口眞理子	鹿児島県身体障害者福祉協会 常務理事兼事務局長
〃	洲崎　弘美	鹿児島県手をつなぐ育成会 常務理事兼事務局長
〃	満元　良明	鹿児島県老人クラブ連合会 常務理事兼事務局長
〃	橋口　秀仁	鹿児島県くらし保健福祉部次長
〃	田島　栄治	鹿児島県くらし保健福祉部参事 （子育て・高齢者支援担当）

評議員任期：平成29年４月１日から平成33年度の定時評議員会の終結の時まで

平成 29 年度　決算報告

資金収支計算書

平成 30 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収支	事業活動収入計	1,980,336,000	1,944,546,515	35,789,485
	事業活動支出計	1,900,894,000	1,816,504,767	84,389,233
	事業活動資金収支差額	79,442,000	128,041,748	△ 48,599,748
施設整備等による収支	施設整備等収入計	0	0	0
	施設整備等支出計	22,796,000	22,009,654	786,346
	施設整備等資金収支差額	△ 22,796,000	△ 22,009,654	△ 786,346
その他の活動による収支	その他の活動収入計	22,370,000	10,667,720	11,702,280
	その他の活動支出計	106,555,000	105,818,517	736,483
	その他の活動資金収支差額	△ 84,185,000	△ 95,150,797	10,965,797
予備費支出		10,126,000	0	10,126,000
当期資金収支差額合計		△ 37,665,000	10,881,297	△ 48,546,297
前期末支払資金残高		432,331,000	432,330,847	153
当期末支払資金残高		394,666,000	443,212,144	△ 48,546,144

事業活動計算書

平成 30 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

勘定科目		当年度決算	前年度決算	差異
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	1,921,126,069	1,874,877,493	46,248,576
	サービス活動費用計	1,918,290,330	1,794,178,308	124,112,022
	サービス活動増減差額	2,835,739	80,699,185	△ 77,863,446
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	23,420,446	20,868,153	2,552,293
	サービス活動外費用計	6,216,853	1,225,381	4,991,472
	サービス活動外増減差額	17,203,593	19,642,772	△ 2,439,179
経常増減差額		20,039,332	100,341,957	△ 80,302,625
特別増減の部	特別収益計	10,170	179,136,999	△ 179,126,829
	特別費用計	69,555	267,929,313	△ 267,859,758
	特別増減差額計	△ 59,385	△ 88,792,314	88,732,929
当期活動増減差額		19,979,947	11,549,643	8,430,304
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,296,906,705	1,308,157,062	△ 11,250,357
	当期末繰越活動増減差額	1,316,886,652	1,319,706,705	△ 2,820,053
	その他の積立金取崩額	6,649,000	100,000,000	△ 93,351,000
	その他の積立金積立額	86,500,000	122,800,000	△ 36,300,000
	次期繰越活動増減差額	1,237,035,652	1,296,906,705	△ 59,871,053

貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	575,106,824	549,823,817	25,283,007	流動負債	185,310,684	163,226,922	22,083,762
固定資産	4,178,986,503	4,255,428,429	△ 76,441,926	固定負債	263,191,368	258,560,292	4,631,076
				負債の部合計	448,502,052	421,787,214	26,714,838
基本財産	3,522,089,617	3,661,740,507	△ 139,650,890	純資産の部			
				基本金	531,752,699	531,752,699	0
				国庫補助金等特別積立金	2,285,826,924	2,383,680,628	△ 97,853,704
その他の固定資産	656,896,886	593,687,922	63,208,964	その他の積立金	250,976,000	171,125,000	79,851,000
				次期繰越活動増減差額	1,237,035,652	1,296,906,705	△ 59,871,053
				純資産の部合計	4,305,591,275	4,383,465,032	△ 77,873,757
資産の部合計	4,754,093,327	4,805,252,246	△ 51,158,919	負債及び純資産の部合計	4,754,093,327	4,805,252,246	△ 51,158,919

財産目録

平成 30 年 3 月 31 日現在　（単位：円）

資産・負債の内訳	
Ⅰ　資産の部	
流動資産	636,046,037
固定資産	4,178,986,503
資産の部合計	4,815,032,540
Ⅱ　負債の部	
流動負債	246,249,897
固定負債	263,191,368
負債の部合計	509,441,265
差引純資産	4,305,591,275

お役立ち情報 簡単レシピ

甘酒とスイカの２色シャーベット

材料　作りやすい分量
●甘酒……100ｇ
●蜂蜜……　10ｇ（小さじ１強）
●スイカ…カットしたスイカ２切れ
必要な場合は
蜂蜜や砂糖、レモン果汁

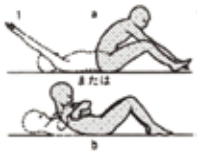
★作り方★
① 甘酒はチャック付きポリ袋に入れ、お好みの量の蜂蜜を入れてよく揉み、冷凍する。
② スイカは種を取り、チャック付きポリ袋に入れて潰してから冷凍庫に入れる。
お好みで蜂蜜や砂糖、レモン果汁を入れると甘みや酸味が増します。
③ １～２時間程度ごとにもむ。これを数回繰り返す。（もむことで舌触りのよいものになります）
④ 皿に盛り付けて完成です！甘みが足りない場合は蜂蜜をかけても◎

★ひとことコメント★
甘酒はエネルギー代謝や疲労回復に効果的なビタミンＢ群や筋肉疲労の回復と予防の効果がある必須アミノ酸などの栄養素が豊富に含まれていることから、「飲む点滴」とも呼ばれます。
スイカは糖質や血圧を下げる効果があるカリウム、ビタミンＢ群が含まれております。

ちょっと気になるニュース。

仕事の頑張りすぎで腰が痛い・・・そんなときはウィリアムス体操！

新連載（超不定期企画）「ちょっと気になるニュース。」２回目の掲載となりました。
今回は、仕事の頑張りすぎで腰が痛くなってしまったときの体操を紹介します。
ウィリアムス体操というのは、腹筋・大殿筋・ハムストリングス・背筋のストレッチを行うことで腰部にかかる負担を軽くしていく体操だそうです。



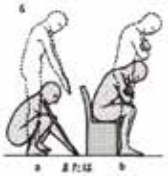
①仰向けに寝て、両方の膝を曲げて、ゆっくりと体を起こして腹筋を強化します。

②仰向けのまま、両手を組み、お尻に力を入れて、骨盤を上に持ち上げましょう。10回程度行いましょう。

③膝を胸につけるように曲げます。背部の筋肉や腰部の筋肉などが伸びるのを意識しましょう。５秒間ずつ10回程度行いましょう。

④長座位になり、手を足の指先につくまで上半身を前に倒していきます。膝がもちあがらないように注意して下さい。

⑤両手を前につき、片足を曲げもう片方は伸ばしていきます。ゆっくりと10回程度行いましょう。



⑥立った状態からゆっくりしゃがみ込むか、難しい方は椅子に座った状態になりましょう。10回程度行います。

無理しすぎず、毎日のお仕事頑張ってください！！！

出典：総合南東北福祉センター川俣ＨＰ（http://www.kaigo-kawamata.com/pdf/20140224.pdf）より引用

施設名	職名	氏名	
鹿児島みなみ保育園	園長	海江田　優	写真右
若葉学園	副園長	中村　春代	
若葉学園	児童指導員	大迫　夏紀	写真左

※平成30年３月31日付け退職

お疲れ様でした！

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

社会福祉法人

鹿児島県社会福祉事業団の概要

基本理念

一人ひとりのおもいを大切にします

私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれのおもいを大切にしていきます

みなに笑顔を届けます

私たちは、みなさんすべてに、心からの笑顔が生まれるよう努めていきます

地域のくらしを守ります

私たちは、地域のみなさんの、自分らしく、生きがいのあるくらしを支えていきます

施設位置	施設種別	施設名	所在地	利用定員(名)
①	法人本部	事務局	〒890-8517　鹿児島市鴨池新町１番７号 鹿児島県社会福祉センター４階 TEL 099-257-7667　FAX 099-259-3939 E-mail　j-office@kagoshima-swc.jp	―
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304　鹿児島市本名町458-1 TEL 099-294-2354　FAX 099-294-4410 E-mail　jinpu@kagoshima-swc.jp	100
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411　姶良市鍋倉190番地２ TEL 0995-65-4313　FAX 0995-65-4609 E-mail　wakaba@kagoshima-swc.jp	88
④	養護老人ホーム	慈眼寺寿光園	〒891-0146　鹿児島市慈眼寺町16番地７号 TEL 099-268-2514　FAX 099-267-7981 E-mail　jigenji@kagoshima-swc.jp	70
―	婦人保護施設		―	30
⑤	保育所	同胞保育園	〒892-0819　鹿児島市柳町３番地３ TEL 099-222-2654　FAX 099-222-2694 E-mail　douhou@kagoshima-swc.jp	150
	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド		―
	放課後児童健全育成事業	同胞学童クラブ		―
⑥	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890-0068　鹿児島市東郡元町18番地3 TEL 099-253-3145　FAX 099-253-3146 E-mail　k-minami@kagoshima-swc.jp	110
⑦	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場（たにっこりん）	〒891-0117　鹿児島市西谷山１丁目３-２ TEL 099-266-6501　FAX 099-266-6502 E-mail　tanikkorin@kagoshima-swc.jp	―
―	母子生活支援施設		―	20世帯
⑧	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503　日置市伊集院町妙円寺１丁目１番１号 TEL 099-273-4175　FAX 099-273-4177 E-mail　yusunosato@kagoshima-swc.jp	日中活動　80 施設入所　70
	特定相談支援事業	ゆす		―
⑨	障害福祉サービス事業（生活介護・生活訓練）	リハステーションゆす	〒892−0836　鹿児島市錦江町３番7号 TEL 099-295-0415　FAX 099-295-0453 E-mail　rihayusu@kagoshima-swc.jp	20
⑩	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007　薩摩川内市百次町1100 TEL 0996-22-4801　FAX 0996-22-4803 E-mail　sendai@kagoshima-swc.jp	日中活動140 施設入所100
	障害福祉サービス事業（共同生活援助）	川内ひまわりホーム	〒895-0007　薩摩川内市百次町1092-3 TEL　0996-20-1261 E-mail　sendai@kagoshima-swc.jp	30
	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	あおぞら	〒895-0007　薩摩川内市百次町1092-3 TEL 0996-22-5006　FAX 0996-22-5008 E-mail　sendai@kagoshima-swc.jp	―
	障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス事業)	チャイルドクラブ　あおぞら	〒895-0007　薩摩川内市百次町1110 TEL 0996-21-1517　FAX 0996-21-1518 E-mail　sendai@kagoshima-swc.jp	10
⑪	障害者就業・生活支援センター事業	かごしま障害者就業・生活支援センター	〒892-0838　鹿児島市新屋敷町16番217号 県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL 099-248-9461　FAX 099-248-9462 E-mail　kssc@kagoshima-swc.jp	―
⑫	障害者就業・生活支援センター事業	ほくさつ障害者就業・生活支援センター	〒895-0027　薩摩川内市西向田町11番26号 TEL 0996-29-5022　FAX 0996-29-5033 E-mail　hssc@kagoshima-swc.jp	―